

電力会社を自由に選べるようになりました

新電力で電気代削減できます

新電力とは？

従来大手電力会社（東京電力、関西電力等）が独占的に販売していた電力を、新規参入の会社でも販売できるようになりました。自由化することにより競争する会社が増え、利用者にとって有利な価格となります。

新電力は皇居（東京）でもご利用頂いています

切り替え後も安心

送配電網は変わらないので、切り替え後も電気の品質は同等です。

※万が一の事態が起こっても、お客様への電力供給は電気事業法で保障されています

新電力は柳生商会へ詳しくは裏面をご覧ください

株式会社柳生商会

埼玉県春日部市緑町4-7-17

URL : <https://yagyushokai.jp>

E-mail : info.yagyushokai.jp

TEL : 048-735-6762

FAX : 048-738-8488

新電力 夏季キャンペーン (7月～9月末)

高圧電力契約のお客様

夏は電力消費が増加します。

基本料金計算の基となる、

**デマンドが気になりませんか。
良い計画が有ります。**



1. 電気料金の決め方

電気料金は、一般的に「基本料金」と「電力量料金」によって計算されます。

電力量料金は、その月に使用した電力量×料金単価で算出されます。

一方、基本料金は、契約電力×契約単価で計算されます。

その際の契約電力は、過去1年間の最大需要電力「最大デマンド値」が年間を通じて採用されます。

2. 最大デマンド値

デマンド値は、毎日30分間の使用電力量を算出し、その中で1番大きい数値を「最大デマンド値」として、その後1年間を通じて適用されます。一般的に夏季はエアコンをフル稼働することが有りエアコンや機械など一斉に稼働した時に大きく跳ね上がります。その跳ね上がった「最大デマンド値」を1年間通して契約電力として途中でいくら下がっても、その数値で基本料金を算出します。勿論途中で上がったなら、その月から上がった数値を採用します。

3. 基本料金を下げるには

「最大デマンド値」を下げるために、デマンド制御の機器を導入したり、監視装置などを入れて、一定数値を超えたら一部器具を停止して数値の上昇を抑えたりします。しかし、その場合にも限度が有り、15%程度が限度です。そんな時、新電力では、数値はそのままに、契約単価を下げます。契約単価を1600円台から500円台に下げることが可能です。つまり70%近い下げも可能です。(但し条件によります)契約単価が下がれば、最大デマンド値にあまり拘らずに基本料金の削減が図れます。しかも費用は掛けずにです。高い基本料金を払っているお客様がまだ沢山居ます。

4. 省エネ計画と併せて、ダブル・コスト削減

エアコン、LED照明、ボイラー更新、生産設備、搬送設備、その他設備の見直しなどと合わせて検討すると、より一層の電力料金等コスト削減が図れます。